

法医解剖における死因別に生じる 組織学的変化と各種分子動態の解析に関する研究

1. 研究の対象

2024年3月以降に秋田大学大学院医学系研究科法医科学講座において法医解剖を実施された方

2. 研究目的・方法

法医学の診断において、肝臓や腎臓などの臓器を検索する病理学的検査は、生前あるいは死の直前に生じた体の機能障害を捉えるために必須です。また、このような機能障害に伴って組織や細胞が変化すると、タンパク質や細胞由来の代謝産物といった様々な分子にも変化が生じることが報告されています。そこで本研究では、法医解剖で得られた諸臓器や血液などの試料を対象として、様々な分子の変化を解析します。さらに、本研究では、法医解剖に先立って本講座にて撮影された死亡時画像診断の画像データも使用し、解剖所見や分子解析結果と照らし合わせて、死因との関係を明らかにするための補助的情報として用います。これらの解析から得られた情報を法医診断に活用し、病態の解明といった医学診断や治療に応用することを目的とします。より確実に客観的な検査結果に基づく法医学診断は、亡くなられた方とご家族の権利を守り、事故や病気の再発や被害拡大の防止に役立ち、社会の安全と国民の健康増進に寄与します。

研究実施期間：研究実施許可日～2028年3月31日

試料・情報の利用及び提供開始予定日：2025年7月28日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、同じ死因と診断されたご遺体の臓器および体液を検体として使用します。これらの検体について、様々な染色法を行った病理組織標本を作成し、所見の検索を行います。また、死因の違いによって特異的に変動する分子を特定するための解析を行います。以上の解析から得られた情報について、法医診断に活用するための有用性を検討します。

対象とする試料・情報は以下のおとりです。

試料：諸臓器、体液

情報：解剖事例の年齢、性別、死因、生化学等の臨床検査結果、薬毒物検出の有無と濃度、遺伝子・タンパク質解析、死亡時画像診断により取得された全身画像データ

4. 外部への試料・情報の提供

試料・情報は個人が特定できないよう氏名等を削除し、業者への郵送及び担当者が直接回収することにより下記の業務委託先等へ提供します。

- ・MST 一般財団法人材料科学技術進行財団には血液検体および臓器検体の薬毒物検査を委託します。
- ・株式会社エスアールエルには血液検体の生化学検査および細菌検査を委託します。
- ・株式会社LSI メディエンスには血液検体および体液検体、臓器検体の生化学検査、薬毒物検査、細菌検査、ウイルス検査を委託します。
- ・公益財団法人秋田県総合保健事業団には組織検体の病理組織検査を委託。
対照表は、当講座の研究責任者が保管・管理します。

5. お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて対象者もしくは対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
秋田大学大学院医学系研究科法医学講座
教授・医師 早川 輝
住所：〒010-8543 秋田県秋田市本道1丁目1番1号
電話番号：018-884-6094（平日8時30分～17時00分）

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：
国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科
研究科長 羽瀨 友則